

世界のデング熱流行状況(更新 6)

2012年4月9日 ProMED 情報

(1)メキシコ

イダルゴ Hidalgo 州(4月8日) 7名の古典的デング熱患者が報告されました。死亡患者はいません。
タマウリパス Tamaulipas 州(4月9日) 2種類の血清型が確認されていますが、今のところ患者数は少なく、確定診断患者はわずか10名です。

(2)エルサルバドル(4月5日)

保健省によると、36名の疑い患者が報告され、昨年同期に比べ4名増えています。報告数が最も多いのがサンサルバドルで、14%がカバニヤス Cabanas、11%がクスカトラン Cuscatlan です。

(3)エクアドル(4月5日)

保健省によると、今年に入り4,168名が感染し、65名が重症です。そのうち4名が死亡しました。

(4)ブラジル

リオ・グランデ・ド・ノルテ州ナタール Natal(4月6日) 先週、バレラ・サンティアゴ病院に6~11歳の子供4名が入院しました。経過は良好です。

リオ・デ・ジャネイロ州およびリオ・デ・ジャネイロ市(4月4日) 今年に入り、州内で7名が死亡し、このうち6名はリオ・デ・ジャネイロ市での報告です。リオ・デ・ジャネイロ市だけで今年には27,859名の患者が報告されました。1週間で434名の報告でした。ウイルス4型が79.5%と主流を占め、市の北部と西部からの報告が多く、今年に入り約25,000名になります。

リオ・デ・ジャネイロ州(4月3日) 1~3月までに州内で38,527名の疑い例が報告され、重症例はウイルス1型、3型および4型が原因となっています。

(5)パラグアイ(4月5日)

現状では、今週終りには確定患者数は2,700名に達すると予想されています。

アルト・パラナ Alt Parana 県(4月4日) これまでに確定診断例が18名、疑い例158名、その他に358名の患者が報告されています。多くはセントラル県を旅行した人たちです。

(6)マレーシア(スランゴール Selangor 州クラン Klang)(4月6日)

ここ数カ月の雨期により、洪水が発生しやすいクランでは、2010年の1,400名、2011年の1,000名に比べ、今年に入り3カ月間だけで724名の患者が報告されています。1~3月まで毎月1名合計3名の死亡患者が報告されています。

(7)インド(タミル・ナードゥ Tamil Nadu 州スリビリプットハー Srivilliputhur)(4月6日)

村の医療チームが新たに子供2名がデング熱の疑いがあると診断しています。

(8)パキスタン(シンド Sindh 州カラチ Karachi)(4月3日)

カラチは、シンド州においてここ数年でデング熱が報告されている唯一の地区です。デング熱監視部門によると、1月1日より4月2日までで、16名の疑い入院患者と、17名の外来患者が報告されています。

(9)台湾(インドネシア、バリ島からの輸入例)(4月4日)

台湾北部の旅行会社が、3月19~24日にバリ島ツアーを催行し、21名の旅行者中6名がデング熱ウイルスに感染しました。また、3月26日に台湾に来たドイツ人旅行者もバリ島でデング熱ウイルスに感染した疑いがあります。

(10)インド洋(ユニオン諸島 Reunion Island)(4月5日)

島の西部で、ウイルスが流行しています。7名の患者と5名の疑い患者が報告されています。